

# 滋賀県の脊髄損傷者 実態調査

(実態調査結果暫定版)



滋賀県立リハビリテーションセンター

# 滋賀県立リハビリテーションセンターの事業

- 高次脳機能障害者支援への取り組み
- 神経難病者支援への取り組み
- 二次障害予防への取り組み
- 脊髄損傷者支援への取り組み

## 教育研修事業専門研修

「脊髄損傷について～総論から合併症まで～」

## ピアカウンセリング事業

## 交流会事業

## (新)生活自立促進に向けた集中支援モデル事業



# はじめに

- わが国における脊髄損傷の受傷者数は、日本脊髄障害者医学会の疫学調査によると、交通事故、スポーツ事故、労災事故によるものや脊髄腫瘍などの疾病によるものなど、年間約5,000人とされている。この報告の中で脊髄損傷者の発症率は、人口100万人あたり約40人とされ、人口140万人の滋賀県においても多くの受傷者がいると推察される。
- しかし滋賀県内において、脊髄損傷に関して調査した報告は少なく、実際に年間どれくらいの受傷者がいるのか不明であったため、今回県内における発症件数の把握を目的に調査を実施した。

# 調査概要

- 調査対象機関

滋賀県内の急性期・亜急性期・回復期の病棟を有する医療機関20箇所

- 調査方法

リハビリテーション科へアンケート送付、訪問面接による回収

- 調査内容

医療機能、対象者の有無、障害像別内訳、  
年齢内訳、受傷原因、転帰先、など

\* 調査対象期間は、平成21年1月～12月の一年間としました。

# 脊髄損傷の定義

脊椎の骨折、脱臼、過度の伸展、屈曲などによる外傷性のものと、  
循環障害、腫瘍、感染症、などの非外傷性のものによる脊髄の損傷で、  
一般的には、運動・感覚・自律神経・膀胱直腸障害を現す。

医学書院理学療法学辞典より一部改変

# 実態調査票

( 調査票の回収について )  
 調査票の回収については、後日(1月中旬)電話にて面接日を調整させていただき、直接にて回収させていただきます。

( 脊髄損傷の定義 )  
 脊椎の骨折、脱臼、過度の伸展、圧迫などによる外傷性のものと、落撞障害、腫瘍、感染症、などの非外傷性のものによる脊髄の損傷で、一般的には、運動・感覚・自律神経・膀胱直腸障害を現す。  
(医学書「物理治療学」第5巻より一部改変)

問1 貴病院の担当機能についておきかせ下さい。(当てはまるものを全てにチェック下さい。)  
 一般病棟急性期       一般病棟亜急性期       回復期病棟

問2 当てはまる病棟機能別に頸髄ならびに胸髄・腰髄損傷別の患者数、またそれぞれについて麻痺の程度、年齢構成、受傷転機、また退院先別の患者数をおきかせ下さい。

① 一般病棟急性期      加療された脊髄損傷患者数  名

( 損傷レベル )

	頸髄損傷者	胸・腰髄損傷者
	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	↓	↓
	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	↓	↓
	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	↓	↓
	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	↓	↓
	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	↓	↓
	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	↓	↓
	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名

( 麻痺の程度 )    不全麻痺  
                          完全麻痺

( 年齢構成 )      18歳未満  
                          18歳以上、65歳未満  
                          65歳以上

# 調査結果

- 回答医療機関 19 医療機関 (回収率 95%)

医療機能	一般病棟	16 箇所 (17 医療機関中)
	亜急性期	4 箇所 (4 医療機関中)
	回復期病棟	9 箇所 (11 医療機関中)

- 脊髄損傷者数 110 人 (同一医療機関での転棟により重複あり)

障害像別内訳 頸髄損傷 74 人

胸・腰髄損傷 36 人

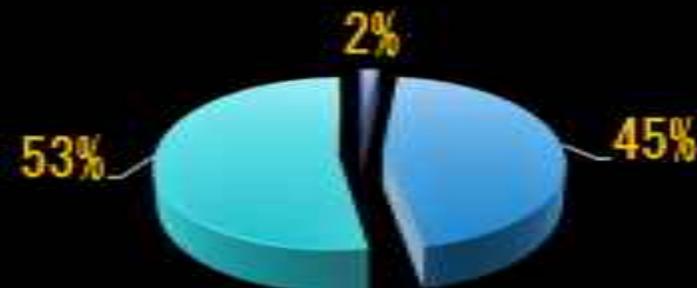
年齢別内訳 ~18 歳 2 人

18 ~ 65 歳 50 人

65 歳 ~ 58 人

脊髄損傷者の年齢別患者数  
2009 年

■ 18 歳未満 ■ 18 歳 ~ 64 歳 ■ 65 歳以上



# 一般病棟急性期における脊髄損傷者の状況

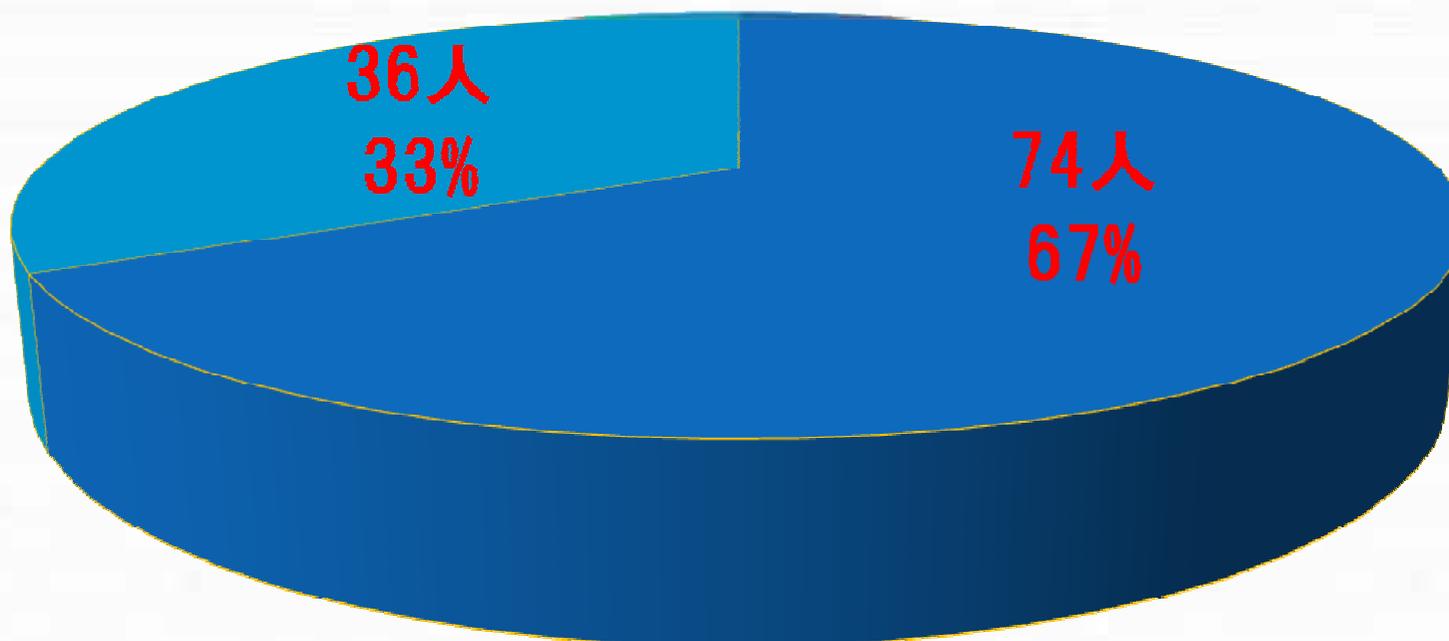
		頸髄損傷		胸・腰髄損傷	
人数(110人)		74人	67.3%	36人	32.7%
麻痺の程度	不全麻痺	61人	82.4%	30人	83.3%
	完全麻痺	13人	17.6%	5人	13.9%
年齢構成	18歳未満	1人	1.4%	1人	2.8%
	18歳～64歳	33人	44.6%	17人	47.2%
	65歳以上	40人	54.1%	18人	50.0%
受傷転機	交通事故	16人	21.6%	3人	8.3%
	労災事故	2人	2.7%	2人	5.6%
	転落事故	11人	14.9%	3人	8.3%
	不慮の事故	21人	28.4%	1人	2.8%
	災害による	0人	0%	0人	0%
	疾病による	13人	17.6%	25人	69.4%
	その他	11人	14.9%	1人	2.8%

胸・腰髄損傷において、麻痺の程度、受傷転機不明者1名あり。

# 一般病棟急性期における脊髄損傷者の状況

平成21年度中に加療した脊髄損傷者数  
(n=110)

■ 頸髄損傷 ■ 胸・腰髄損傷

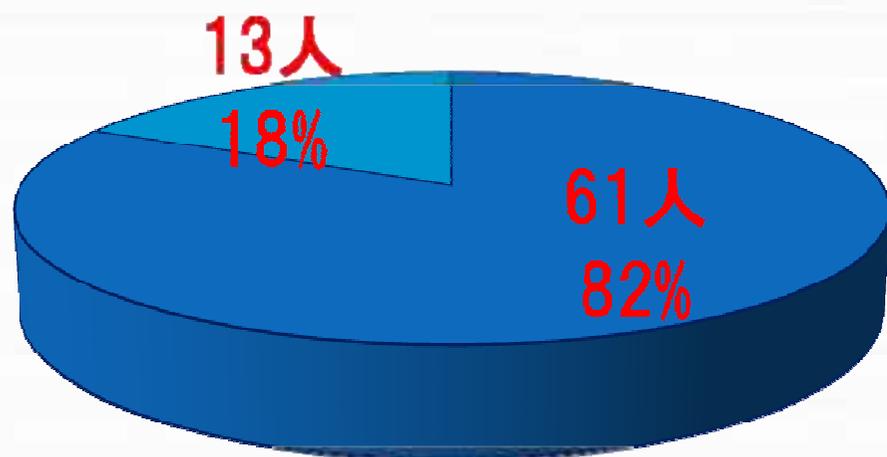


# 一般病棟急性期における脊髄損傷者の状況

## 平成21年度加療された脊髄損傷者の麻痺の程度別人数

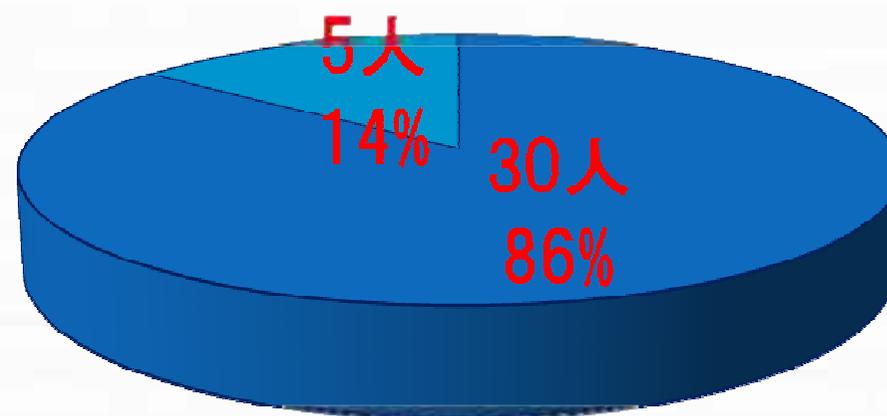
頸髄損傷者  
(n=74)

■ 不全麻痺 ■ 完全麻痺



胸・腰髄損傷者  
(n=36)

■ 不全麻痺 ■ 完全麻痺



胸・腰髄損傷において、麻痺の程度不明者1名あり。

# 一般病棟急性期における脊髄損傷者の状況

## 平成21年度加療された脊髄損傷者の年代別人数

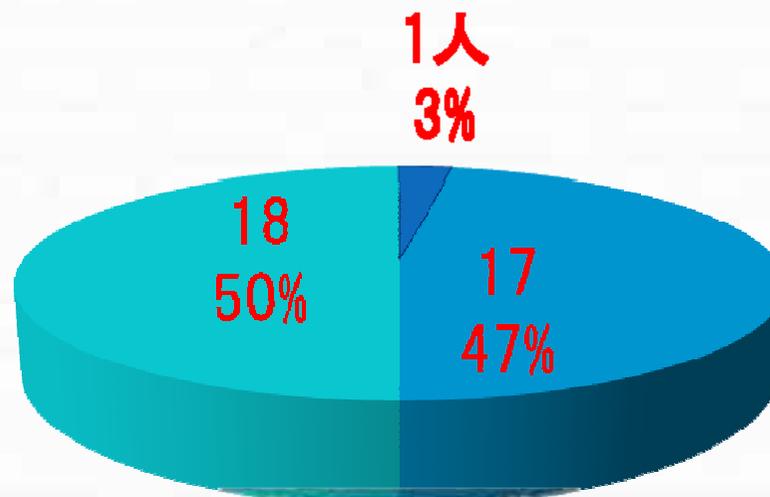
### 頸髄損傷 (n=74)

- 18歳未満
- 18歳以上65歳未満
- 65歳以上



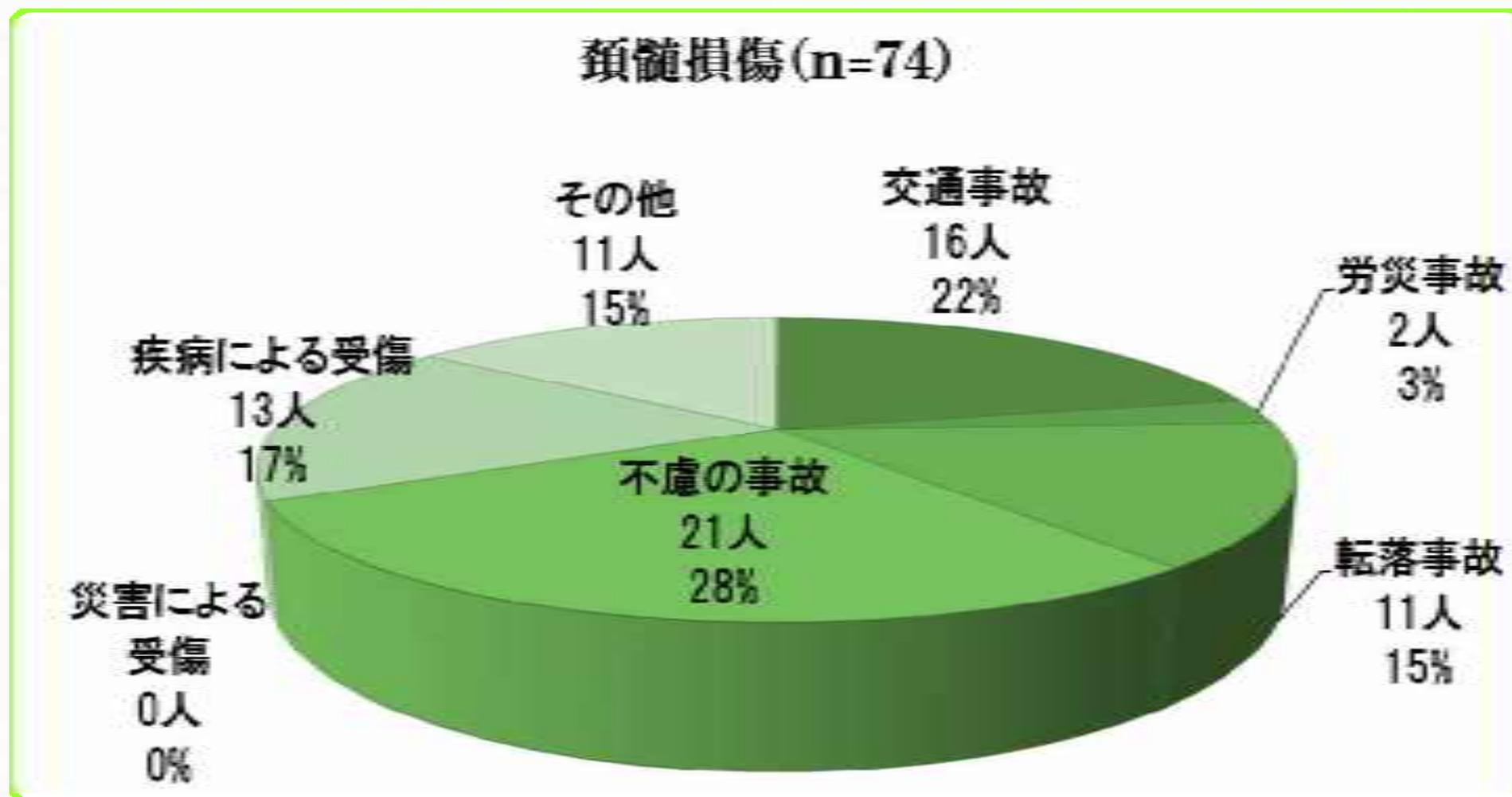
### 胸・腰髄損傷 (n=36)

- 18歳未満
- 18歳以上65歳未満
- 65歳以上



# 一般病棟急性期における脊髄損傷者の状況

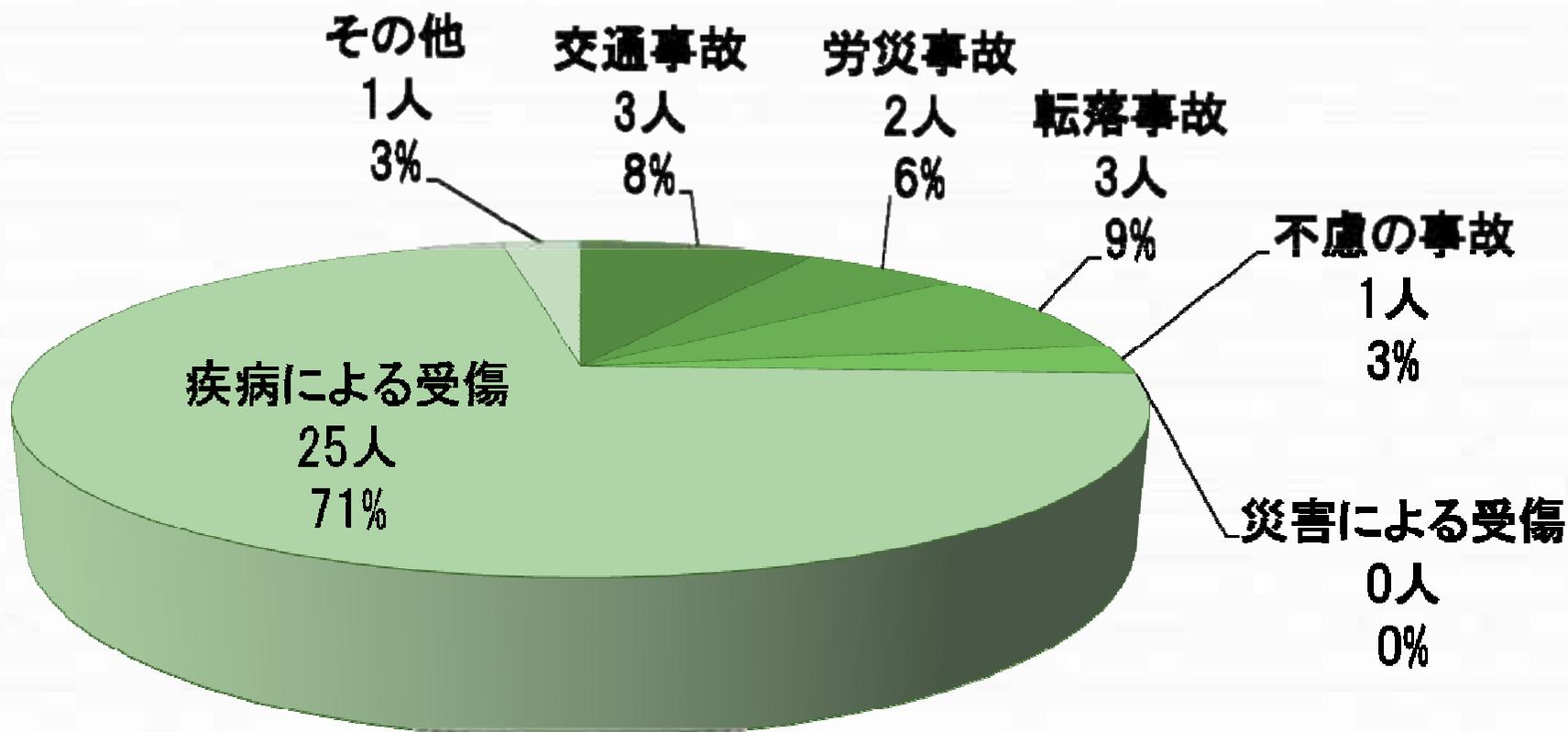
## 平成21年度加療された脊髄損傷者の受傷転機別人数



# 一般病棟急性期における脊髄損傷者の状況

## 平成21年度加療された脊髄損傷者の受傷転機別人数

### 胸・腰髄損傷(n=36)



胸・腰髄損傷において、受傷転機不明者1名あり。

# 一般病棟急性期における脊髄損傷者の状況

平成21年度加療された脊髄損傷者の退院先別人数(転院含める)

		頸髄損傷		胸・腰髄損傷	
人 数		74人	67.3%	36人	32.7%
県内転院	亜急性期	1人	1.4%	0人	0.0%
	回復期	12人	16.2%	3人	8.3%
	リハセンター	5人	6.8%	2人	5.6%
	療養病床	8人	10.8%	1人	2.8%
施設	むれやま荘など	1人	1.4%	0人	0.0%
自 宅		33人	44.6%	17人	47.2%
県外医療機関(回復期も含む)		1人	1.4%	1人	2.8%
県外リハセンター		1人	1.4%	0人	0.0%
今現在入院中		7人	9.5%	4人	11.1%
そ の 他		5人	6.8%	8人	22.2%

# 一般病棟亜急性期における脊髄損傷者の状況

		頸髄損傷		胸・腰髄損傷	
人数		1人	100.0%	0人	0.0%
麻痺の程度	不全麻痺	1人	100.0%	0人	0.0%
	完全麻痺	0人	0.0%	0人	0.0%
年齢構成	18歳未満	0人	0.0%	0人	0.0%
	18歳～64歳	1人	100.0%	0人	0.0%
	65歳以上	0人	0.0%	0人	0.0%
受傷転機	交通事故	0人	0.0%	0人	0.0%
	労災事故	0人	0.0%	0人	0.0%
	転落事故	1人	100.0%	0人	0.0%
	不慮の事故	0人	0.0%	0人	0.0%
	災害による	0人	0.0%	0人	0.0%
	疾病による	0人	0.0%	0人	0.0%
	その他	0人	0.0%	0人	0.0%

胸・腰髄損傷において、麻痺の程度、受傷転機不明者1名あり。

# 一般病棟亜急性期における脊髄損傷者の状況

平成21年度加療された脊髄損傷者の退院先別人数(転院含める)

		頸髄損傷		胸・腰髄損傷	
人数		1人	100.0%	0人	0.0%
県内転院	回復期	0人	0.0%	0人	0.0%
	リハセンター	0人	0.0%	0人	0.0%
	療養病床	0人	0.0%	0人	0.0%
施設	むれやま荘など	0人	0.0%	0人	0.0%
自宅		1人	100.0%	0人	0.0%
県外医療機関(回復期も含む)		0人	0.0%	0人	0.0%
県外リハセンター		0人	0.0%	0人	0.0%
今現在入院中		0人	0.0%	0人	0.0%
その他		0人	0.0%	0人	0.0%

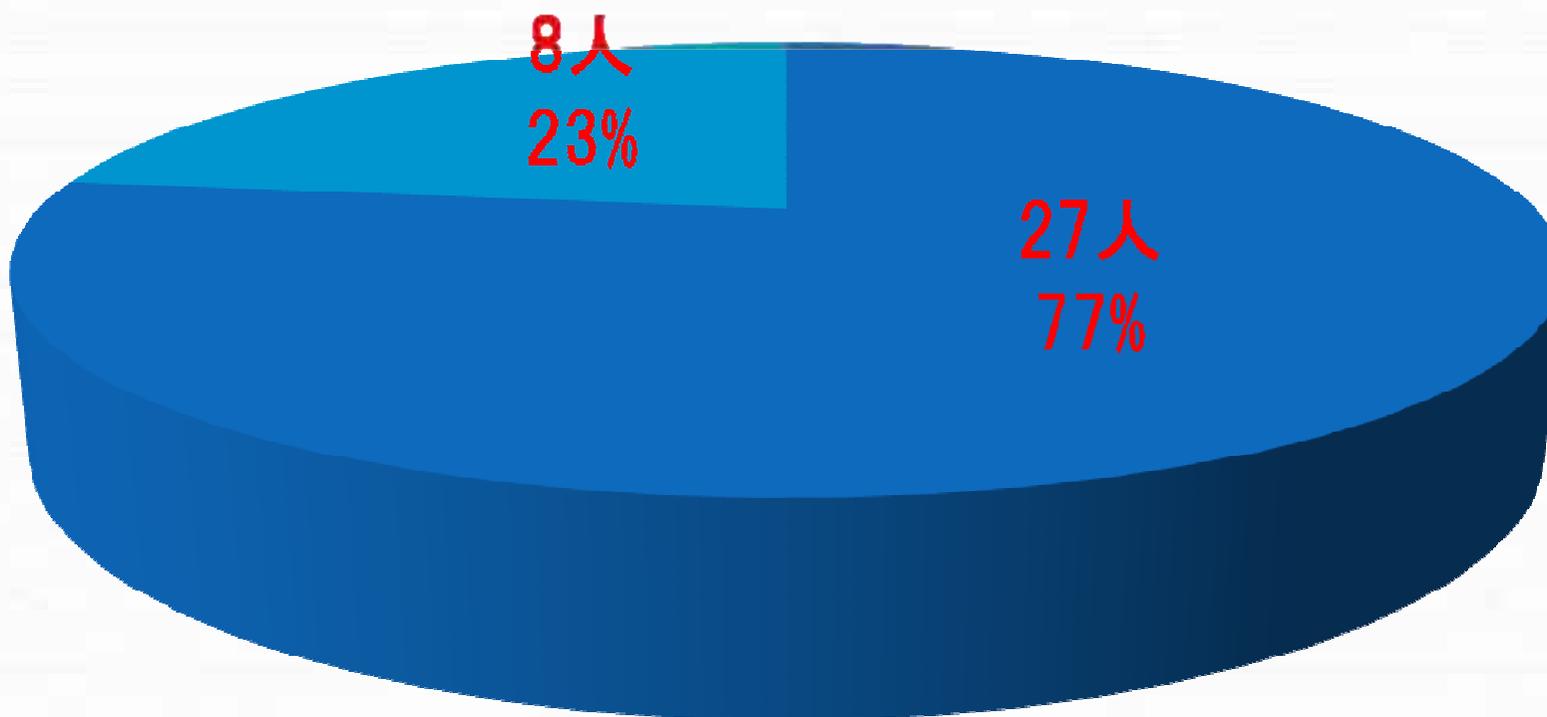
# 回復期病棟における脊髄損傷者の状況

		頸髄損傷		胸・腰髄損傷	
人数		27人	77.1%	8人	22.9%
県外医療機関からの転院者数		3人	(11.1%)	4人	(50.0%)
麻痺の程度	不全麻痺	26人	96.3%	6人	75.0%
	完全麻痺	1人	3.7%	2人	25.0%
年齢構成	18歳未満	0人	0.0%	0人	0.0%
	18歳～64歳	11人	40.7%	3人	37.5%
	65歳以上	16人	59.3%	5人	62.5%
受傷転機	交通事故	2人	7.4%	0人	0.0%
	労災事故	1人	3.7%	1人	12.5%
	転落事故	12人	44.4%	1人	12.5%
	不慮の事故	2人	7.4%	0人	0.0%
	災害による	0人	0.0%	0人	0.0%
	疾病による	7人	25.9%	4人	50.0%
	その他	3人	11.1%	2人	25.0%

# 回復期病棟における脊髄損傷者の状況

平成21年度に加療した脊髄損傷者数  
(n=35)

■ 頸髄損傷 ■ 胸・腰髄損傷

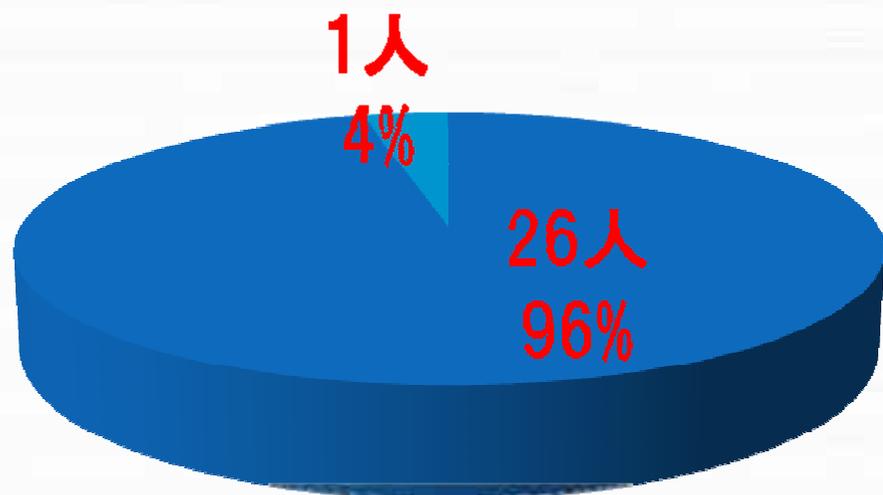


# 回復期病棟における脊髄損傷者の状況

## 平成21年度加療された脊髄損傷者の麻痺の程度別人数

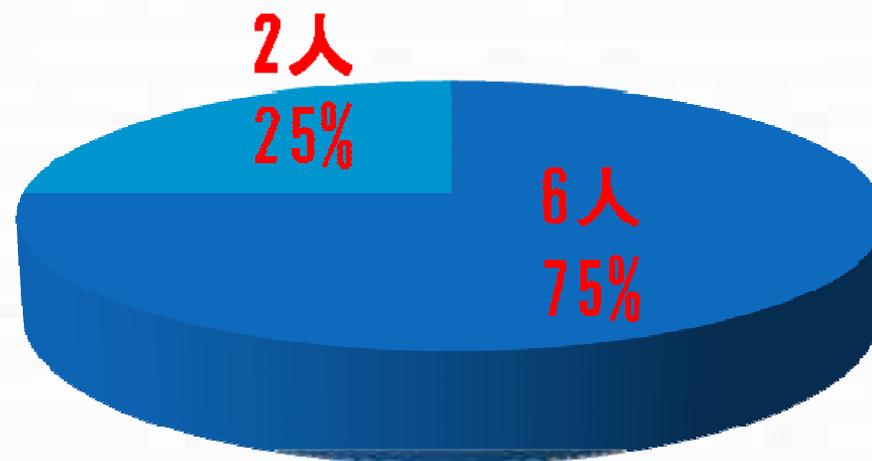
頸髄損傷者  
(n=27)

■ 不全麻痺 ■ 完全麻痺



胸・腰髄損傷者  
(n=8)

■ 不全麻痺 ■ 完全麻痺

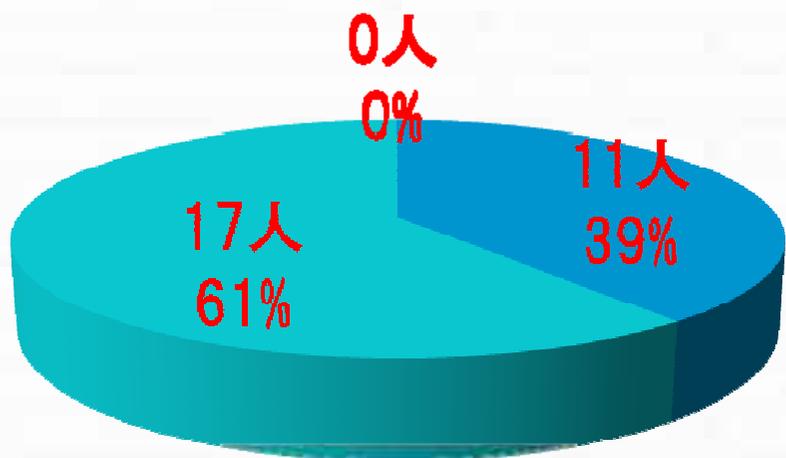


# 回復期病棟における脊髄損傷者の状況

## 平成21年度加療された脊髄損傷者の年代別人数

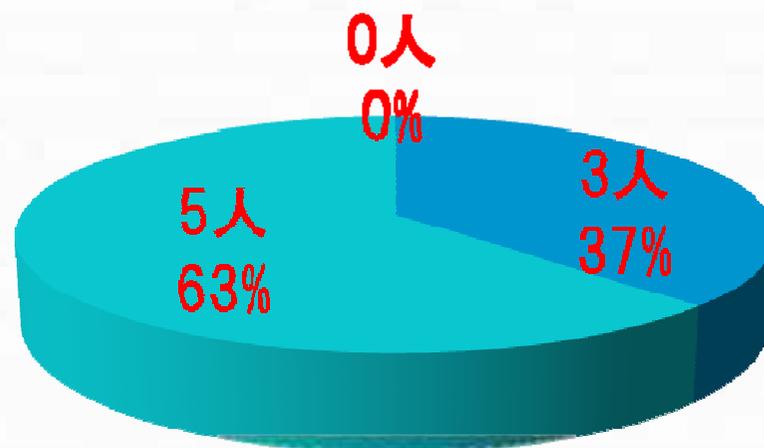
### 頸髄損傷者 (n=27)

- 18歳未満
- 18歳以上65歳未満
- 65歳以上



### 胸・腰髄損傷者 (n=8)

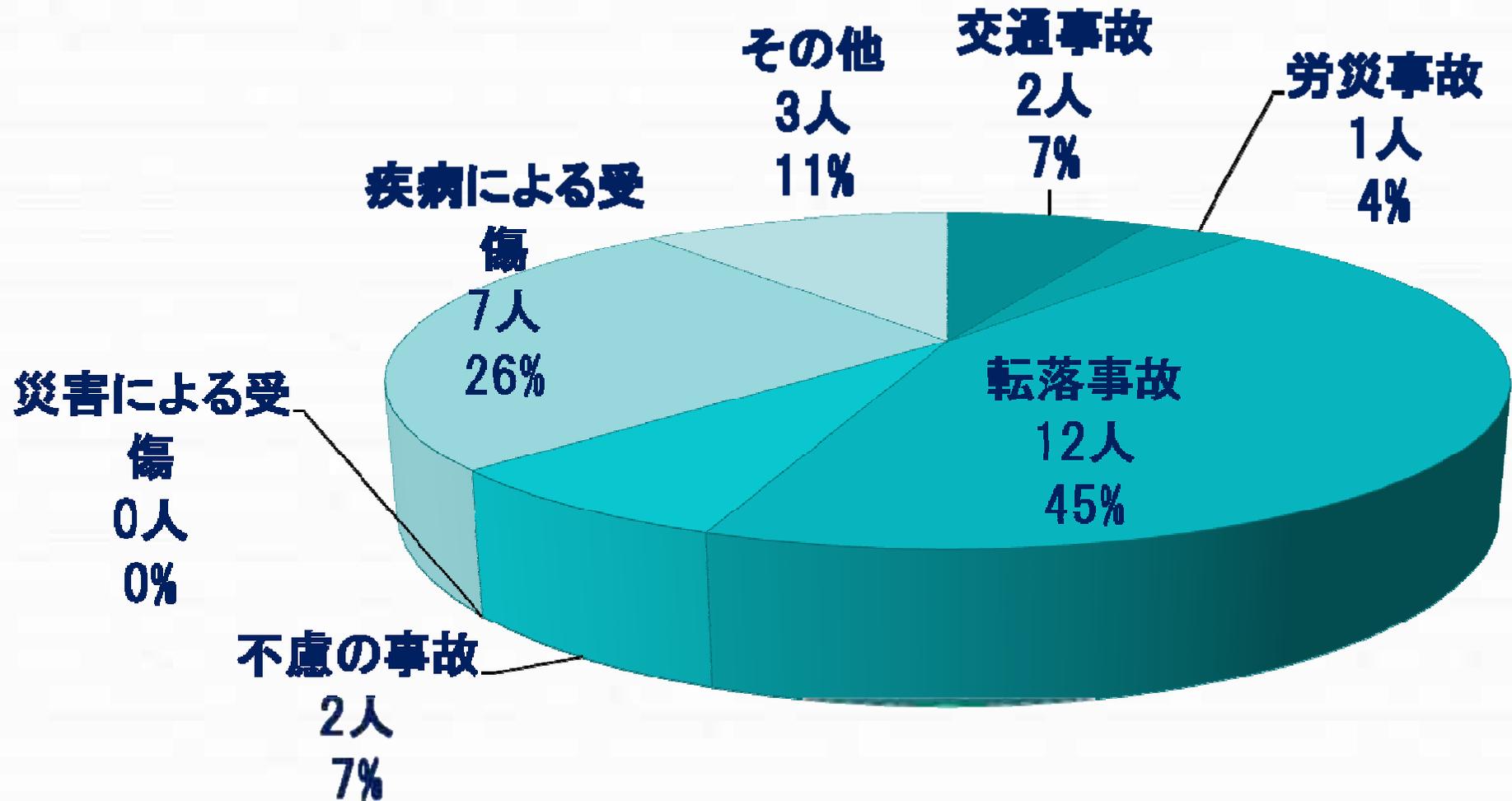
- 18歳未満
- 18歳以上65歳未満
- 65歳以上



# 回復期病棟における脊髄損傷者の状況

平成21年度加療された脊髄損傷者の受傷転機別人数

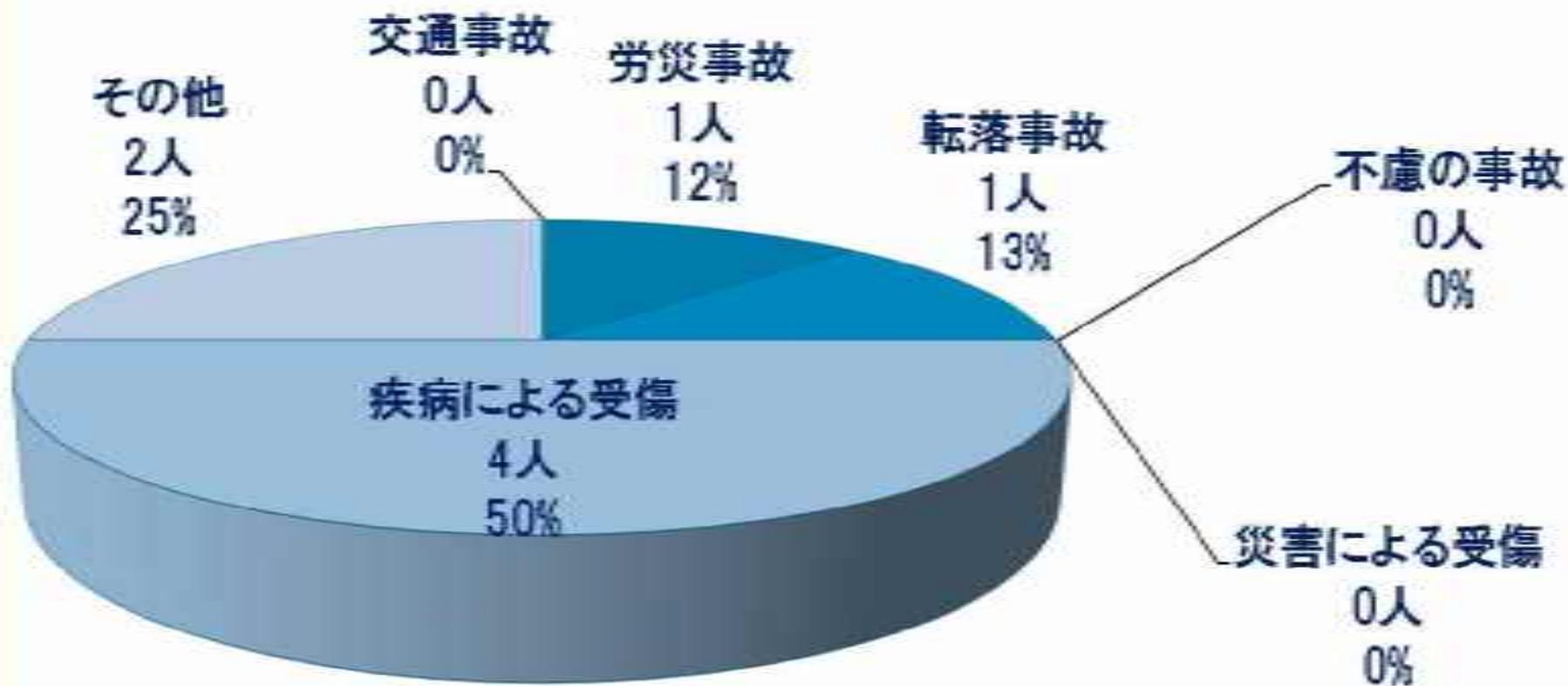
頸髄損傷 (n=27)



# 回復期病棟における脊髄損傷者の状況

## 平成21年度加療された脊髄損傷者の受傷転機別人数

胸・腰髄損傷者 (n=8)



# 回復期病棟における脊髄損傷者の状況

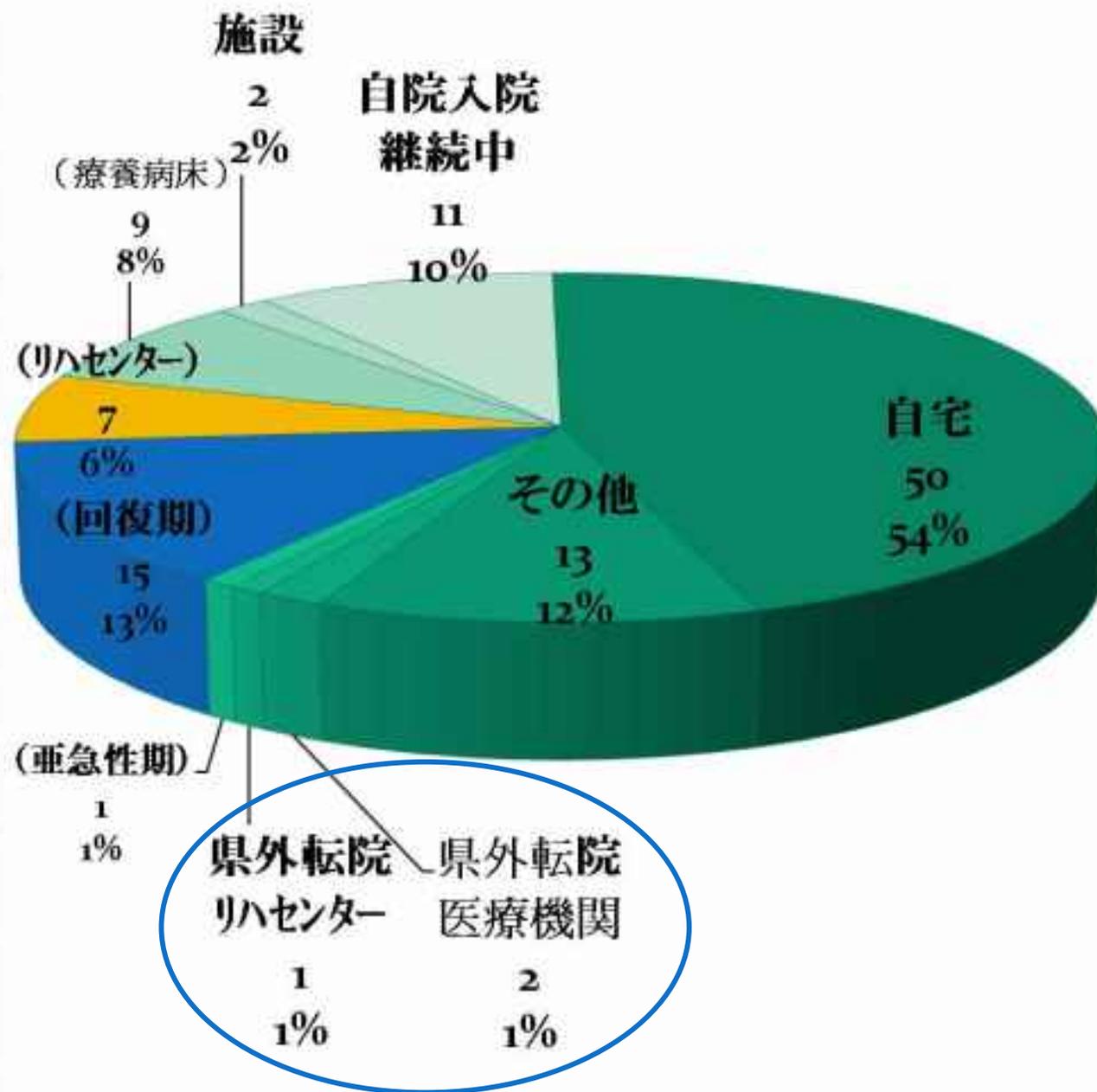
平成21年度加療された脊髄損傷者の退院先別人数(転院含める)

		頸髄損傷		胸・腰髄損傷	
人数		27人	100.0%	8人	100.0%
県内転院	回復期	0人	0.0%	0人	0.0%
	リハセンター	0人	0.0%	0人	0.0%
	療養病床	0人	0.0%	0人	0.0%
施設	むれやま荘など	1人	3.7%	0人	0.0%
自宅		20人	74.1%	7人	87.5%
県外医療機関(回復期も含む)		2人	7.4%	0人	0.0%
県外リハセンター		0人	0.0%	0人	0.0%
今現在入院中		2人	7.4%	1人	12.5%
その他		2人	7.4%	0人	0.0%

# 調査結果

- 一般急性期病棟からの  
転帰先 (n=110)

転機先	人数
県内転院 (亜急性期)	1名
(回復期)	15名
(リハビリ)	7名
(療養病床)	9名
施設	2名
自宅	50名
県外転院 (医療機関)	2名
(リハビリ)	1名
自院入院継続中	11名
その他 (不明)	13名



# 転帰先の流れ（頸髄損傷の場合）①



# 転帰先の流れ（頸髄損傷の場合）②



- 県内亜急性期
- 県内回復期
- 県内リハセンター
- 県内療養型
- 施設（むれやま荘など）
- 自宅
- 県外医療機関
- 県外リハセンター
- 自院入院継続中
- その他（不明含む）

# 転帰先の流れ（頸髄損傷の場合）③



# 転帰先の流れ（胸・腰髄損傷の場合）①



# 転帰先の流れ（胸・腰髄損傷の場合）②



0名

県内亜急性期
県内回復期
県内リハセンター
県内療養型
施設
自宅
県外医療機関
県外リハセンター
自院入院継続中
その他（不明含む）

# 転帰先の流れ（胸・腰髄損傷の場合）③



- 0名 → 県内亜急性期
- 7名 → 県内回復期
- 0名 → 県内リハセンター
- 0名 → 県内療養型
- 1名 → 施設（むれやま荘など）
- 0名 → 自宅
- 0名 → 県外医療機関
- 0名 → 県外リハセンター
- 0名 → 自院入院継続中
- 0名 → その他（不明含む）

# まとめ ( 1 )

- 年齢内訳より、「65歳以上」が54%を占めており、高齢者の脊髄損傷者が増加している現状が判明した。
- 受傷原因より、「疾病による受傷」が34%を占めた。  
調査当初は脊髄損傷の受傷原因は外傷が多いと推測していた為、今回調査依頼を急性期～回復期の20医療機関とした。  
今後正確に脊髄損傷者の人数を把握するためには、より多くの医療機関での受け入れ状況の調査が必要と感じた。
- 急性期から回復期リハ病棟への転帰が全体で22名いた。
- 県内回復期へは15名(10医療機関)、県内のリハセンターへは7名であった。

## まとめ（２）

- 脊髄損傷者が、県外の医療機関などへ転院となったのは3名であった。
- 県内で110名の脊髄損傷者が発生する中で、自立支援施設の利用は2名であった。

# 今後に向けて

- 今回の調査で、一般病棟急性期における高齢者の脊髄損傷者が、58名と半数を占めるなど、高齢脊髄損傷者が多く発生していることが明らかとなった。研修事業などを通じて高齢者の脊髄損傷者への支援について学習する機会の必要性を感じた。
- 青年・壮年期の脊髄損傷者（一般病棟急性期50名など）に対しては、ピアカウンセリング事業やモデル事業などによる当事者同士の交流や、多機関の協働による在宅生活の定着や就労に向けての一層の支援体制の整備が必要と感じた。

ご協力いただきました関係各医療機関におきましては、深謝いたします。



滋賀県立リハビリテーションセンター

# 滋賀県における脊髄損傷患者の実態調査実施要領

## < 背景 >

わが国における脊髄損傷の受傷者数は、『労災病院における脊髄損傷疫学調査（1996年度～2006年度）』<sup>1)</sup>によると、全国にある労災病院と関連施設より寄せられた10年度分約3,000人の脊髄損傷者データをもとに、受傷時および受傷後の状況・症状について集計している。また、日本脊髄障害者医学会の疫学調査によると、日本では交通事故、スポーツ事故、労災事故によるものや脊髄腫瘍などの疾病によるものなど、年間約5,000人もの脊髄損傷者が発症していると報告している。

この報告の中では脊髄損傷者の発症率は人口100万人当たり約40人と報告されており、人口140万人の滋賀県においても多くの受傷者がいると推察される。

これまで滋賀県においては、脊髄損傷に関して調査した報告は少なく、実際どれぐらいの受傷者がいるのかは不明であった。

そこで、今後リハビリテーションセンターが脊髄損傷者を支援するための事業を展開するにあたり、県内における脊髄損傷患者の発症件数などを調査する運びとなった。

### 1. 目的

滋賀県立リハビリテーションセンターが、県内における脊髄損傷患者の発症件数などを調査することにより、今後事業展開する上で実際の患者数とその動態を把握することを目的とする。

### 2. 調査対象機関

県内にある60カ所の医療機関のうち、一般病棟急性期、一般病棟亜急性期、および回復期病棟を有する医療機関で以下の20病院。

### 3. 調査対象者

下記の調査対象期間に、脊髄損傷となられた方で、リハビリテーション科(部)において加療された方。

### 4. 調査対象期間

平成21年1月1日 ~ 平成21年12月31日

### 5. 調査方法

対象依頼診療科 : リハビリテーション科(リハビリテーション部含む)

方法 : 調査票の郵送、および訪問面接による回収。

調査項目 : 別紙調査票のとおり。

発送などの時期 : 発送 ; 平成22年1月上旬

面接による回収の時期 ; 平成22年1月下旬

(面接の日時については、当該医療機関と電話にて調整。)

### 6. 実施主体

滋賀県立リハビリテーションセンター

### 7. 情報管理

得られた情報については、滋賀県立リハビリテーションセンターにて管理。

< 滋賀県における脊髄損傷患者の実態調査票 >

滋賀県立リハビリテーションセンター

(はじめに)

この調査票は、滋賀県立リハビリテーションセンターが、県内における脊髄損傷患者の発症件数などを把握し今後の事業展開の資料にするためのものです。貴病院リハビリテーション科(部)において、平成21年中に脊髄損傷になられ加療された方について、次項からの質問にお答えいただきますようお願いいたします。

( 調査票の回収について )

調査票の回収については、後日(1月中旬)電話にて面接日を調整させていただき、面接にて回収させていただきます。

( 脊髄損傷の定義 )

脊椎の骨折、脱臼、過度の伸展、屈曲などによる外傷性のものと、循環障害、腫瘍、感染症、などの非外傷性のものによる脊髄の損傷で、一般的には、運動・感覚・自律神経・膀胱直腸障害を現す。  
( (医学書院理学療法事典より一部改変) )

問1 貴病院の担う機能についておきかせ下さい。(当てはまるもの全てにチェック下さい。)

一般病棟急性期                      一般病棟亜急性期                      回復期病棟

問2 当てはまる病棟機能別に頸髄ならびに胸髄・腰髄損傷別の患者数、またそれぞれについて麻痺の程度、年齢構成、受傷転機、また退院先別の患者数をおきかせ下さい。

一般病棟急性期                      加療された脊髄損傷患者数                      名

( 損傷レベル )		頸髄損傷者	胸・腰髄損傷者
		<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
		↓	↓
( 麻痺の程度 )	不全麻痺	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	完全麻痺	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
		↓	↓
( 年齢構成 )	18歳未満	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	18歳以上、65歳未満	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	65歳以上	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
		↓	↓
( 受傷転機 )	交通事故	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	労災事故	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	転落による受傷	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	不慮の事故	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	災害による受傷	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	疾病による受傷	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	その他	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名

( 退院先 )

県内転院 亜急性期  
 回復期  
 リハセンター  
 療養病床  
 施設 (むれやま荘など)  
 自宅  
 県外医療機関 (回復期も含む)  
 県外リハセンター  
 今現在入院中  
 その他

	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名

一般病棟亜急性期 加療された脊髄損傷患者数  名

( 損傷レベル )

頸髄損傷者	<input type="text"/> 名	胸・腰髄損傷者	<input type="text"/> 名
-------	------------------------	---------	------------------------

( 麻痺の程度 )

不全麻痺	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
完全麻痺	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名

( 年齢構成 )

18 歳未満	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
18 歳以上、65 歳未満	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
65 歳以上	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名

( 受傷転機 )

交通事故	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
労災事故	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
転落による受傷	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
不慮の事故	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
災害による受傷	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
疾病による受傷	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
その他	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名

( 退院先 )

県内転院 回復期  
 リハセンター  
 療養病床  
 施設 (むれやま荘など)  
 自宅  
 県外医療機関 (回復期も含む)  
 県外リハセンター  
 今現在入院中  
 その他

	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名
	名		名

回復期 加療された脊髄損傷患者数  名

( 損傷レベル )		頸髄損傷者 <input type="text"/> 名	胸・腰髄損傷者 <input type="text"/> 名
		上記患者数のうち県外医療機関からの転院者数	
		<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
		↓	↓
( 麻痺の程度 )	不全麻痺	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	完全麻痺	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
		↓	↓
( 年齢構成 )	18 歳未満	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	18 歳以上、65 歳未満	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	65 歳以上	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
		↓	↓
( 受傷転機 )	交通事故	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	労災事故	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	転落による受傷	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	不慮の事故	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	災害による受傷	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	疾病による受傷	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	その他	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
		↓	↓
( 退院先 )	県内転院	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	回復期	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	リハセンター	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	療養病床	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	施設 (むれやま荘など)	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	自宅	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	県外医療機関 (回復期も含む)	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	県外リハセンター	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	今現在入院中	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名
	その他	<input type="text"/> 名	<input type="text"/> 名

ご協力ありがとうございました。

ご不明な点がございましたら、  
 滋賀県立リハビリテーションセンター  
 事業推進担当 高松・林まで  
 滋賀県守山市守山 5 丁目 4-30  
 TEL 077-582-8157  
 FAX 077-582-5726